

## 国際競技会派遣選手 選考基準

平成 30 年 11 月 26 日

(公財)日本スケート連盟

国際大会への派遣選手選考は、以下の基準に基づき、強化委員会が推薦し、理事会もしくは選考委員会で承認することによって決定する。

### 【派遣選手編成方針】

行動規範を遵守し、活力ある日本スケート連盟を代表するに相応しい選手・役員を持って編成する。

代表選手の決定後、ケガや病気などによって大会への参加が困難だと判断された場合は、理事会もしくは選考委員会で選手を入れ替えることがある。

その場合、強化スタッフに登録されたスポーツドクターの診断・見解を参考に検討する。

このことは全ての派遣事業に対して同様の考えとする。

### 【ISUワールドカップ第1戦～第3戦】

#### ① 開催場所 / 期間

第1戦 カナダ (カルガリー) / 平成 30 年 11 月 2 日～11 月 4 日

第2戦 アメリカ (ソルトレークシティ) / 平成 30 年 11 月 9 日～11 日

第3戦 カザフスタン (アルマティ) / 平成 30 年 12 月 7 日～12 月 9 日 ※ 決定

~~第4戦 アジア地区 (TBA) / 平成 30 年 12 月 14 日～12 月 16 日 (TBA) ※ 中止~~

#### ② 選考人数 (総数) : 男女各 6 名

#### ③ 選考対象競技会

第 29 回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会(男女各 35 名参加)

(長野県・野辺山:帝産アイストレーニングセンター:平成 30 年 10 月 7 日～8 日)

#### ④ 選考基準 : 以下の手続きにしたがって選考する。

- i) 500m、1000m、1500m の 3 距離で、各距離の優勝者を選考する (1～3 人)
- ii) それぞれの距離別順位に派遣選考用距離別順位ポイント表 (ショートトラック) に従ってポイントを与え、3 距離の中での高得点 2 距離を合計した選考用のランキングを作成し、その上位の者から男女とも、i) と合わせて 5 名になるまでの人数 (2～4 人) を選考する。但し、2 距離合計獲得ポイントが同点の場合は高得点 1 距離の成績でより高いポイントを獲得している選手を優先する。更に同点の場合は 3 距離の合計獲得ポイントの高い者を優先し、更に同点の場合は 1000m のランキング上位の者を優先する。
- iii) ii) で選考された者に続くランキング上位の者から、国際競技会での活躍の可能性を総合的に評価・検討し、男女各 1 名を強化部推薦枠として選考する。
- iv) ii) で選考された者に続くランキング上位の者で iii) で選考されなかった者から、国際競技会での活躍の可能性を総合的に評価・検討し、男女各 3 名程度を補欠として選考する。

- v) 第3戦および第4戦のそれぞれにおいて、i)～iii)までの基準により選考された正選手とiv)の基準で選考された補欠選手との入れ替えを行うことがあるが、その入れ替えは、当該年度のJOCナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、第3戦の事前合宿の時点において、第1戦および第2戦の成績、練習状況、体調・コンディショニング等を総合的に考慮して、必要性を判断し行うものとする。

## 【世界ジュニア選手権】

① 開催場所 / 期間：カナダ（モントリオール） / 平成31年1月25日～1月27日 ※ 変更

② 選考人数：男女各4名

③ 選考対象競技会

第38回全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会

(兵庫県・神戸市：(神戸市立ポートアイランドスポーツセンター)：平成30年12月15日～16日)

④ 選考基準：以下の手順に従って選考する。

i) ISUワールドカップ第3戦に派遣された世界ジュニア対象年齢の選手を選考する（該当の選手は選考対象競技会への参加を免除する。）。

ii) 各距離の優勝者を選考する。但し、i)による選考後の残りの選考人数が2名以下の場合、優勝距離の多い者を優先する。1距離優勝者相互では、優勝した距離以外の2距離のうち、より好成績の距離の順位が上位の者を優先する。これが同順位の場合は、もう1距離の順位が上位の者を優先する。

iii) 500m、1000m、1500mの3距離で、それぞれの距離別順位に距離別順位ポイント表（ショートトラック）に従ってポイントを与える。3距離の中の高得点2距離を合計して選考用のランキングを作成し、その上位の者から男女共、i)及びii)と合わせて4名になるまでの人数を選考する。但し、2距離合計獲得ポイントが同点の場合は高得点1距離の成績でより高いポイントを獲得している選手を優先する。

更に同点の場合は3距離の合計獲得ポイントの高い者を優先し、更に同点の場合は1000mのランキング上位の者を優先する。

※1 世界ジュニア選手権とISUワールドカップ第4・5戦の日程が近いため、③の選考対象競技会後の代表選考委員会において④の選考基準を満たす正選手のほか、これに準じた補欠選手3名を選考し、世界ジュニア選手権の正選手がワールドカップ第4・5戦の代表選考基準を満たした場合には、当該年度のJOCナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、正選手と補欠選手の入れ替えを行う。従って、正式決定は、第41回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会の後に行う。入れ替えを行うべきか否かは、次の各要素を勘案して決定する。

i) 対象選手のコンディション

ii) 世界選手権リレー出場枠の獲得状況

iii) 世界ジュニア選手権の活躍期待度

※2 参加(ジュニア)対象年齢：国際スケート連盟 一般規定108条2項により

1999年7月1日から2004年6月30日までに生まれた者

## 【世界選手権】

- ① 開催場所 / 期間：ブルガリア（ソフィア） / 平成 31 年 3 月 8 日～10 日
  - ② 選考人数（総数） A) リレー出場権無し：個人戦出場枠(男 3 名・女 2 名) + 1 名（補欠含む）  
B) リレー出場権有り：男女各 5 名
  - ③ 選考対象競技会  
第 29 回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会(男女各 35 名参加)  
（長野県・野辺山;帝産アイストレーニングセンター：平成 30 年 10 月 7 日～8 日）  
第 41 回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会(男女各 35 名参加)  
（長野県・野辺山;帝産アイストレーニングセンター：平成 31 年 1 月 12 日～13 日）
  - ④ 選考基準：以下の手続きにしたがって選考する。
    - i) それぞれの距離別順位に派遣選考用距離別順位ポイント表（ショートトラック）に従ってポイントを与える。  
全日本距離別選手権の 3 距離（500m、1000m、1500m）での取得ポイント合計×25%  
全日本選手権の 3000m スーパーファイナルを除く 3 距離(500m、1000m、1500m)での各取得ポイント合計×75%  
を合算してランキング(R1)を作成し、上位の者から男子 4 名・女子 3 名選考する。但し、合計獲得ポイントが同点の場合は全日本選手権のポイントで比較する。
    - ii) リレー出場権がある場合は、  
全日本距離別選手権の 3 距離(500m、1000m、1500m)での取得ポイント×25%  
全日本選手権の 3000m スーパーファイナルを除く 3 距離(500m、1000m、1500m)での各取得ポイント×75%  
それらを距離毎に合算したポイントから高得点 2 距離を抽出したランキング(R2)を作成し、上位の者から男子 1 名、女子 2 名を選考する。  
但し、合計獲得ポイントが同点の場合は、全日本選手権の距離別合計ポイント(3000m スーパーファイナルを除く)で比較する。更に同点の場合は、全日本選手権における 1000m のランキング上位の者を優先する。
- ※ 個人戦出場の 1 枠については、ワールドカップ第 4・5 戦の成績ならびに事前合宿での練習状況や体調・コンディショニングを総合的に考慮し、入れ替えの必要性を判断するものとする。  
入れ替えを必要と判断した場合は、当該年度の JOC ナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により決定する。

## 【ISUワールドカップ第 4・5 戦】

- ① 開催場所 / 期間  
第 4 戦 ドイツ（ドレスデン） / 平成 31 年 2 月 1 日～3 日  
第 5 戦 イタリア（トリノ） / 平成 31 年 2 月 8 日～10 日
- ② 選考人数：男女各 6 名
- ③ 選考対象競技会  
第 29 回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会(男女各 35 名参加)

(長野県・野辺山;帝産アイストレーニングセンター：平成30年10月7日～8日)

第41回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会(男女各35名参加)

(長野県・野辺山;帝産アイストレーニングセンター：平成31年1月12日～13日)

④ 選考基準：以下の手続きにしたがって選考する。

i) それぞれの距離別順位に派遣選考用距離別順位ポイント表(ショートトラック)に従ってポイントを与える。

全日本距離別選手権の3距離(500m、1000m、1500m)での取得ポイント合計×25%

全日本選手権の3000mスーパーファイナルを除く3距離(500m、1000m、1500m)での各取得ポイント合計×75%

を合算してランキング(R1)を作成し、上位の者から男女共3名を選考する。但し、合計獲得ポイントが同点の場合は全日本選手権のポイントで比較する。

ii) 全日本距離別選手権の3距離(500m、1000m、1500m)での取得ポイント×25%

全日本選手権の3000mスーパーファイナルを除く3距離(500m、1000m、1500m)での各取得ポイント×75%

それらを距離毎に合算したポイントから高得点2距離を抽出したランキング(R2)を作成し、上位の者から男女共2名を選考する。

但し、合計獲得ポイントが同点の場合は、全日本選手権の距離別合計ポイント(3000mスーパーファイナルを除く)で比較する。更に同点の場合は、全日本選手権における1000mのランキング上位の者を優先する。

iii) ii)で選考されたものに続くランキング(R2)上位の者から強化部推薦枠として男女各1名を選考する。

iv) ii)で選考された者に続くランキング上位の者でiii)で選考されなかった者から、国際競技会での活躍の可能性を総合的に評価・検討し、男女各3名程度を補欠として選考する。

v) 派遣日程の関係から国民体育大会の参加を優先する者は対象としない。

## 【第29回ユニバーシアード冬季競技大会(2019/クラスノヤルスク)】

① 開催場所 / 期間：ロシア(クラスノヤルスク) / 平成31年3月2日～12日

② 選考人数：男女各5名

③ 選考対象競技会

ユニバーシアード(2019/クラスノヤルスク)日本代表選手選考競技会

(山梨県・甲府市:小瀬スポーツ公園アイスアリーナ：平成30年11月10日～11日)

④ 選考基準：以下の手続きにしたがって選考する。

i) ISUワールドカップ第2戦に派遣されたユニバーシアード日本代表選考対象(※1)の選手を選考する(該当選手は選考対象競技会への参加を免除する。)

ii) 各距離の優勝者を選考する。但し、i)による選考後の残りの選考人数が2名以下の場合、優勝距離の多い者を優先する。1距離優勝者相互では、優勝した距離以外の2距離のうち、より好成績の距離の順位が上位の者を優先する。これが同順位の場合は、もう1距離の順位が上位の者を優先する。

iii) 500m、1000m、1500mの3距離で、それぞれの距離別順位に距離別順位ポイント表（ショートトラック）に従ってポイントを与える。3距離の中の高得点2距離を合計して選考用のランキングを作成し、その上位の者から男女共、i)及びii)と合わせて5名になるまでの人数を選考する。但し、2距離合計獲得ポイントが同点の場合は高得点1距離の成績でより高いポイントを獲得している選手を優先する。

更に同点の場合は3距離の合計獲得ポイントの高い者を優先し、更に同点の場合は1000mのランキング上位の者を優先する。

※1 本大会の参加対象は、大学生および大学卒業後1年以内の者とする（制約事項は大会要項による。）。

※2 ユニバーシアード冬季大会と世界選手権の日程が重複するため、④の選考基準を満たす正選手のほか、これに準じた補欠選手5名を選考し、ユニバーシアードの正選手が世界選手権の代表選考基準を満たした場合には、当該年度のJOCナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、正選手と補欠選手の入れ替えを行う。従って、正式決定は、第41回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会の後に行う。入れ替えを行うべきか否かは、次の各要素を勘案して決定する。

i) 対象選手のコンディション

ii) 世界選手権リレー出場枠の獲得状況

iii) ユニバーシアードの活躍期待度

(公財)日本スケート連盟主催競技会  
派遣選考用距離別順位ポイント表 (ショートトラック)

位	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント
1	1000	16	35	31	14
2	800	17	28	32	13
3	640	18	27	33	12
4	512	19	26	34	11
5	410	20	25	35	10
6	328	21	24	36	9
7	262	22	23	37	8
8	210	23	22	38	7
9	168	24	21	39	6
10	134	25	20	40	5
11	107	26	19	41	4
12	86	27	18	42	3
13	69	28	17	43	2
14	55	29	16	44	1
15	44	30	15	others	1